東京・学校図書館スタンプラリー 9年間の取り組み

東京・学校図書館スタンプラリー実行委員会
作成責任者：岡村淑美［明治学院高等学校］

00 東京・学校図書館スタンプラリーのあらまし

図書館を見ると学校がわかる !?

東京・学校図書館スタンプラリーは学校の夏休み期間を利用し、中学・高校の学校図書館を一般に公開するイベントです。
〔対象〕小・中学生とその保護者、高校生、学校教職員、近隣住民、図書館関係者、学校図書館に関心を持っている人

〔目的〕
・小・中学生とその保護者に対し進路選択の判断材料を提供
・学校図書館の魅力を知ってもらう
・学校図書館活動への理解を深めてもらう

第8回参加校一覧［2019年］

【国立 3 校】
筑波大学附属駒場中・高等学校、東京学芸大学附属世田谷中学校、東京大学附属中等教育学校

【都立 19 校】
秋留台高等学校、板橋高等学校、大江戸高等学校、小川高等学校、科学技術高等学校、小岩高等学校、国際高等学校、小平高等学校、墨田川高等学校、多摩工業高等学校、豊多摩高等学校、東大和高等学校、東大和南高等学校、広尾高等学校、町田総合高等学校、白鴎高等学校、白鴎高等学校附属白鴎中学、南多摩中等教育学校、武蔵高等学校附属中学校

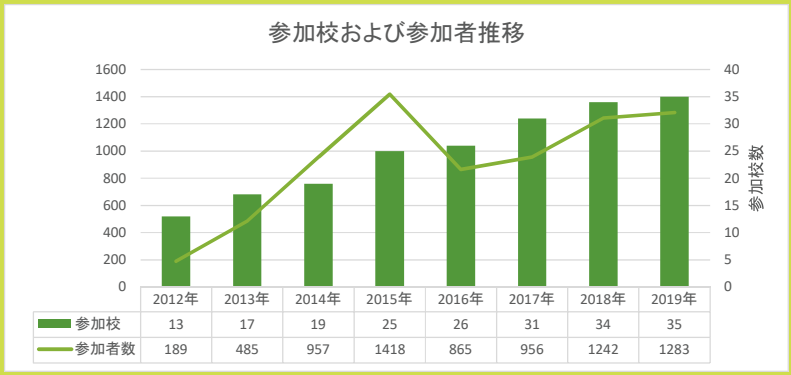
【私立 13 校】
神田女学園中学校・高等学校、錦城高等学校、工学院大学附属高等学校、駒場東邦中学校・高等学校、聖学院中学校・高等学校、玉川聖学院中等部・高等部、田園調布学園中等部・高等部、トキワ松学園中学校・高等学校、目黒日本大学中学校・高等学校、広尾学園中学校・高等学校、宝仙学園中学校・高等学校、明星学園中学校、明治学院中学校・東村山高等学校

【事務局として参加】
私立明治学院高等学校、都立井草高等学校

01 データで見る東京・学校図書館スタンプラリー

参加校と参加者の推移

2012 年に都立・私立合わせて 13 の高校で「東京・高校学校図書館スタンプラリー」を開催し、参加者は 189 名を数えました。2 年目には「東京・学校図書館スタンプラリー」と改称。スタンプラリーの知名度が上がるにつれ、期間や校種を拡大、参加校も参加者数も増加しました。2018 年には念願の国立学校の参加も実現しました。2020 年度は残念ながら開催中止となってしまいましたが、実行委員会は参加校 35 校で組織され、協力して運営しています。



	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
参加校	13	17	19	25	26	31	34	35
参加者数	189	485	957	1418	865	956	1242	1283

02 スタンプラリーから生まれた企画 作家講演会

未来の読者や創作者を育てる

東京・学校図書館スタンプラリー開催も第 5 回を迎えた 2016 年、新たな試みとして若手作家を招いて講演会を催しました。初回には額賀澪氏を、以降阿部智里、柚木麻子、小嶋陽太郎各氏を迎えました。現役の作家と中高生が話をする機会は機会は貴重です。参加した中高生が文学を身近に感じ、 その後の読書活動につながる刺激を与えるとともに、作家の経歴を知ることで、進路についても考えてもらえることを目的として、このイベントを続けています。なお、今年度は佐藤青南氏をお迎えします。

作家講演会ポスター

03 スタンプラリーから生まれた本 学校図書館の司書が選ぶ本シリーズ

学校図書館の司書が子供たちの読書を応援

2020 年夏、『なるには BOOKS 別巻　もっとある！学校図書館の司書が選ぶ小中高生におすすめの本 220』がぺりかん社より刊行されました。これは、スタンプラリーの参加者への景品として毎年配布しているブックガイド小冊子から厳選したタイトルを、選者である司書・司書教諭の紹介文と一緒にまとめたものです。子どもの読書を熟知した学校図書館のプロが選ぶラインナップは、児童・生徒をはじめ、その保護者の方、読書教育に興味・関心のある学校関係者、一般の方々からも高い評価をいただいています。

学校図書館の司書が選ぶ
小中高生におすすめの本 300
2017 年 7 月刊　1,500 円＋税

ぺりかん社（なるには BOOKS 別巻）
東京・学校図書館スタンプラリー実行委員会編著

もっとある！学校図書館の司書が選ぶ
小中高生におすすめの本 220
2020 年 8 月刊　1,600 円＋税

04 コロナ禍とこれからの学校図書館

第 9 回開催中止と With コロナにおける今後のイベントのあり方

実行委員会では、年度末の初回打ち合わせからスタートし、夏のスタンプラリー開催に向けて準備を積み重ねてきました。しかしながら、2 月からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催そのものが困難になりました。最終的に、今年度のスタンプラリーは中止とし、作家講演会（オンライン同時開催）とブックガイド小冊子制作のみを行うことを決定しました。来年度の再開を目指していますが、今後のイベントのあり方については、オンラインの活用を含めた新たな可能性を探っていきます。

2020 年東京・学校図書館スタンプラリーで作成した冊子「いつでもそばに本がある - 学校司書が選んだ小中学生におすすめの本」は、今年度に限り PDF ファイルにて、公式 HP で公開中です。（2021 年 3 月 31 日まで ）

【紹介図書を一部公開 !】
『ごみ育』滝沢秀一著・太田出版、『パリの国連で夢を食う。』川内有緒著・イースト・プレス、『雷のあとに』中山聖子著・文研出版、『戦場の秘密図書館』マイク・トムソン著・文渓堂、『13 歳からの「気もちを伝える言葉」事典』矢野耕平著・メイツ出版、『国籍の？（ハテナ）がわかる本』木下理仁著・太郎次郎社エディタス、『病魔という悪の物語』金森修著・筑摩書房、『変化朝顔図鑑』仁田坂英二著・化学同人
など全 81 冊

東京・学校図書館スタンプラリー HISTORY

「東京・学校図書館スタンプラリー」と改称

7/15『学校図書館の司書が選ぶ小中高生におすすめの本 300』出版記念イベント開催（都立多摩図書館）

10/21 阿部智里氏講演会

11/10 小嶋陽太郎氏講演会

11/1 佐藤青南氏講演会

2012/8/20-8/24 第 1 回
「東京・高校学校図書館スタンプラリー」開催

2013/7/18-7/31 第 2 回
7/11　平成 25 年度 東京都子供読書フォーラム参加

2014/7/19-8/30 第 3 回

2015/7/18-8/29 第 4 回

2016/7/9-8/31 第 5 回
10/22 額賀澪氏講演会

2017/7/15-8/31 第 6 回

2018/7/15-8/28 第 7 回
10/28 柚木麻子氏講演会

10/30 ～ 11/1
第 20 回図書館総合展参加

2019/7/15-8/31 第 8 回

2020 第 9 回中止
11/1 ～ 11/30
第 22 回図書館総合展 _ ONLINE 参加

2021 夏 第 9 回開催予定
See you again!

2020 年 10 月作成